

特集

バスに変わって住民の足と なれるかデマンド交通

町では、既存の路線バス利用者が低迷し、経営も不振であることなどを背景に、今年4月からバスの運行を全面休止し、新たな地域交通システムとしてデマンド交通（すずらん号）をスタートさせました。すずらん号は、①立沢・南原山・神戸方面 ②蔦木・花場・若宮方面 ③乙事・境方面に各1台、多客時用に1台の合計4台で対応しています。1台には9人が乗車でき、高齢者にやさしい戸口から戸口までのサービスを重点にあげ、利用の推進を呼びかけてきました。

半年が経過し、すずらん号が住民の足として認知されたかどうか、関係者からの意見を踏まえ町民の皆さんにすずらん号の現状と課題について共に考えていただき、多くの皆さんが利用できるよう今回、特集を計画しました。

